



# 大島出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 大島出張所



【定点把握疾患】2025年 第20週（5月12日～5月18日）

大島・・・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎2件

感染性胃腸炎10件

※急性呼吸器感染症（ARI）30件

利島・・・なし

新島・・・感染性胃腸炎1件

式根島・・・なし

神津島・・・急性呼吸器感染症（ARI）2件

※急性呼吸器感染症（ARI）の報告対象は、次週から「大島のみ」です。

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第19週（5月5日～5月11日）

・17週に注意報基準を超えた水痘の定点当たり報告数は0.75(前週は0.68)でしたが、連休で医療機関の休診が影響していると考えられるため、今後の動向に注意が必要です。

今週のコメント 都内で注意報レベルの水痘のお話です。

学校保健安全法で定められている出席停止期間は、「すべての発疹が痂皮化するまで」です。

## ○水痘(すいとう)とは

水痘-帯状疱疹(たいじょうほうしん)ウイルスによる感染症で、一般には「みずぼうそう」として知られています。小児によく見られる病気で、特に2～8歳で多いです。

## ○症状

潜伏期間は10日から21日間で、まずは赤い丘疹が出現してそれが水泡(水ぶくれ)になり、潰れて※痂皮(かひ)化するのが特徴です。数日にわたり新しい発疹が次々と出現しますので、急性期には紅斑、丘疹、水泡、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在します。すべての発疹が痂皮になるまで6日程度かかります。通常、軽症で終生免疫(一度の感染で生涯、その感染症にはかからない)を得ることが多いですが、成人では重症になることがあります。またウイルスは治った後も体の中に潜伏していて、何年も経過してから、帯状疱疹として発症することがあります。特に50歳以上では発症率が高くなります。(※痂皮=かさぶた)

## ○感染経路

「患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染(飛沫感染・空気感染)」、「水泡や粘膜の排出物に接触することによる感染」があります。発疹出現の1～2日前からすべての水泡が痂皮(かひ)化するまで感染力があります。

## ○予防

有効な予防法は予防接種で、生後12ヶ月から2回の接種をします。水痘患者に接触した場合でも、3日以内にワクチンを接種すれば80%から90%発病を予防でき、家族内感染の予防や施設内感染の防止に有効とされています。また、発症した場合でも症状の軽減化が期待できます。

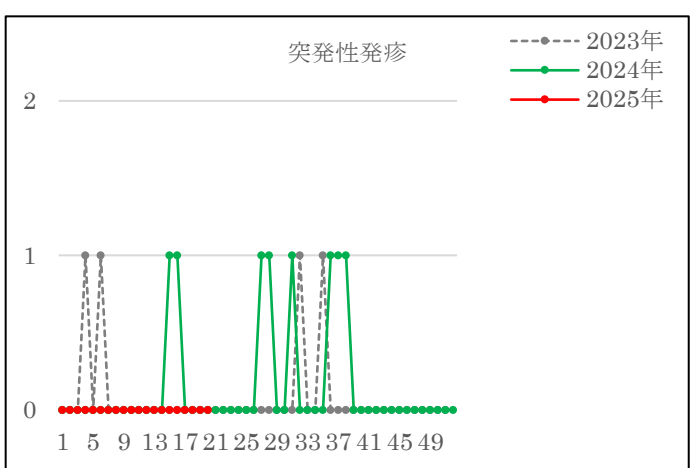
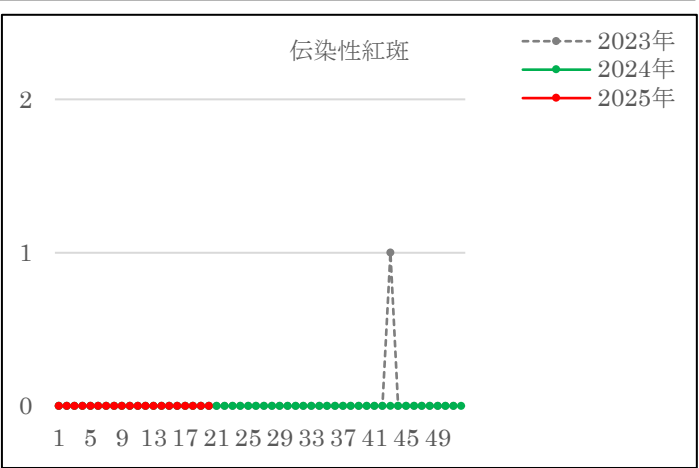
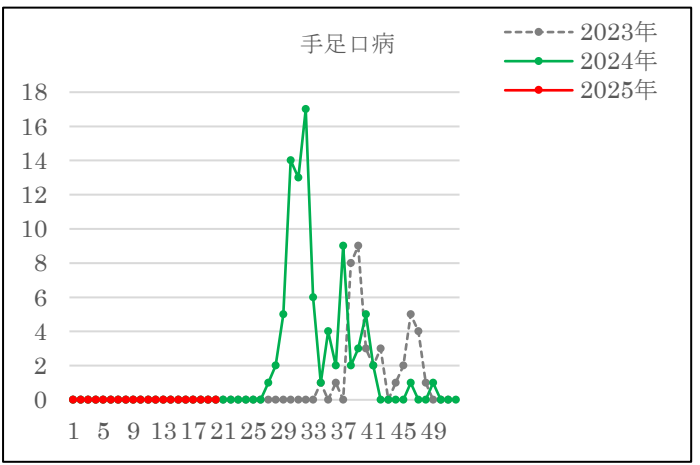
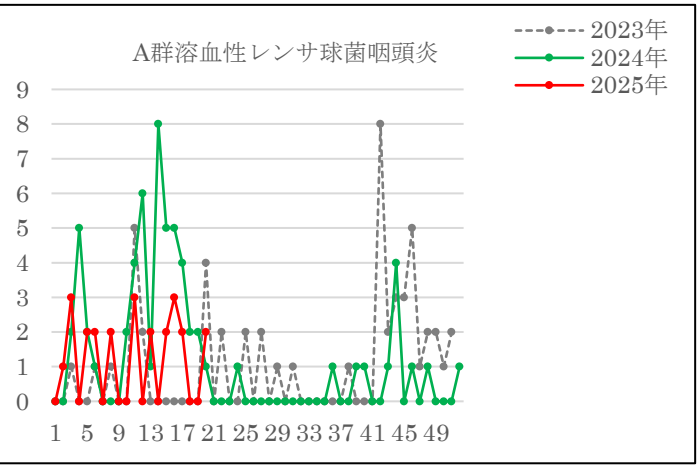
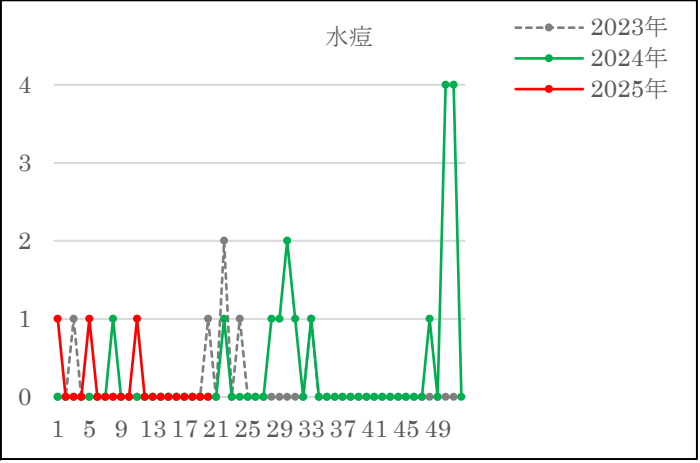
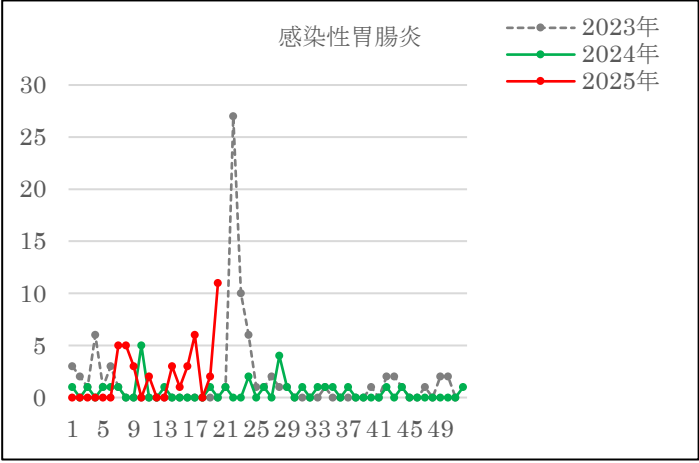
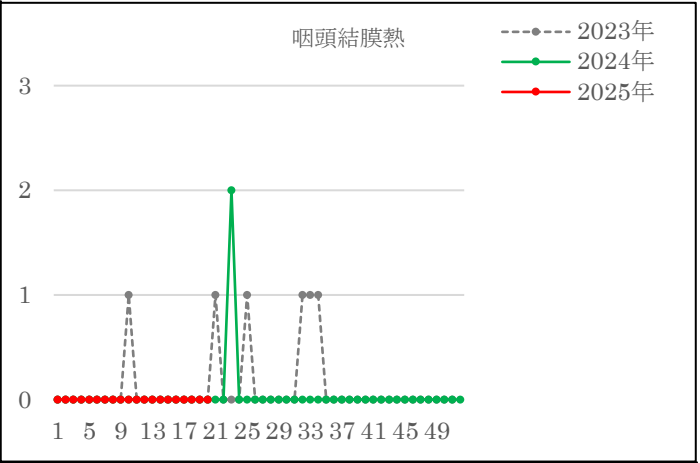
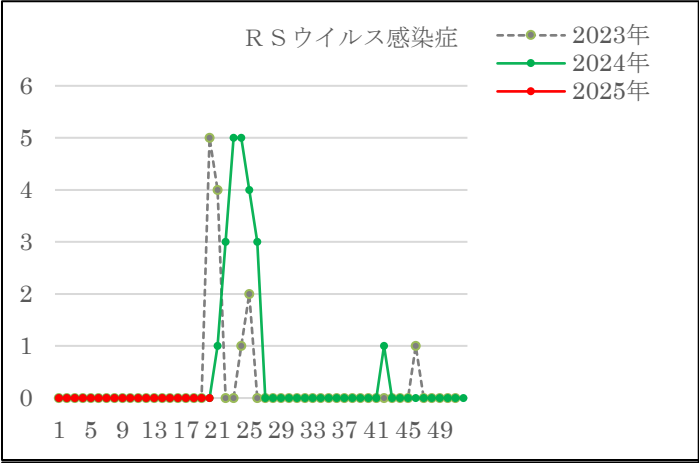
島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

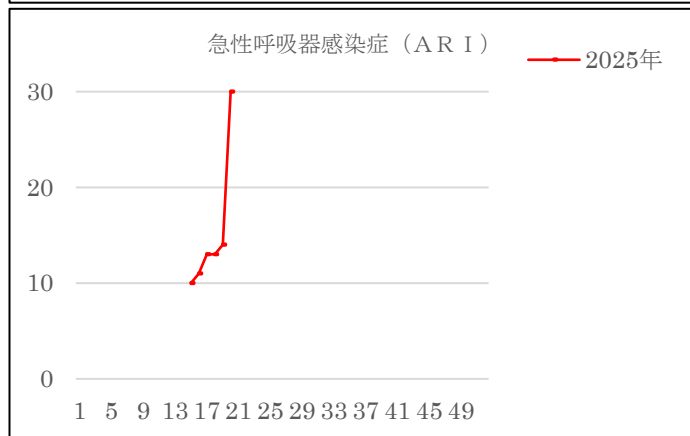
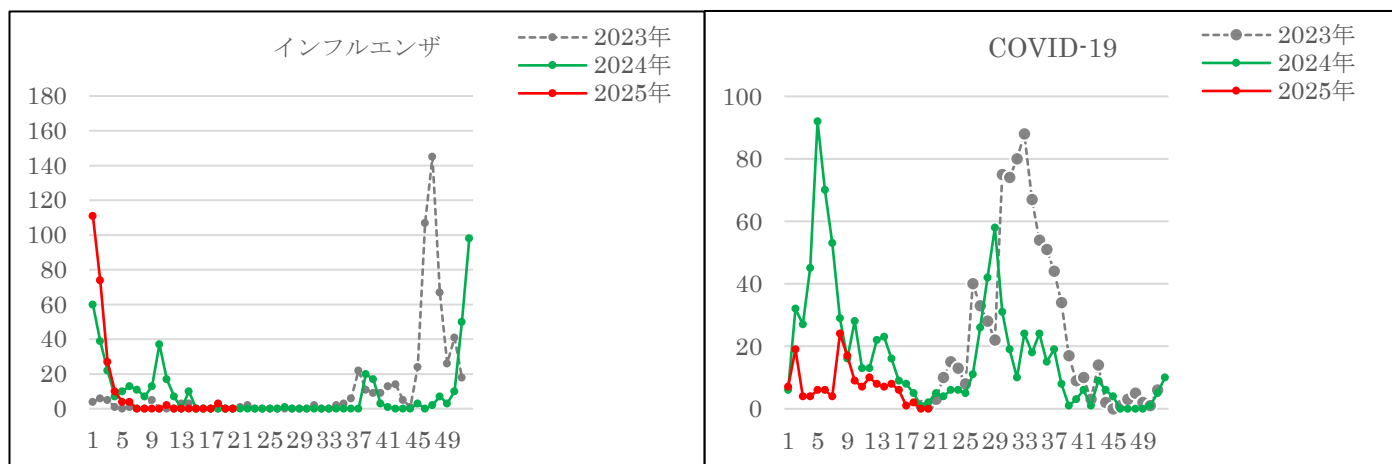
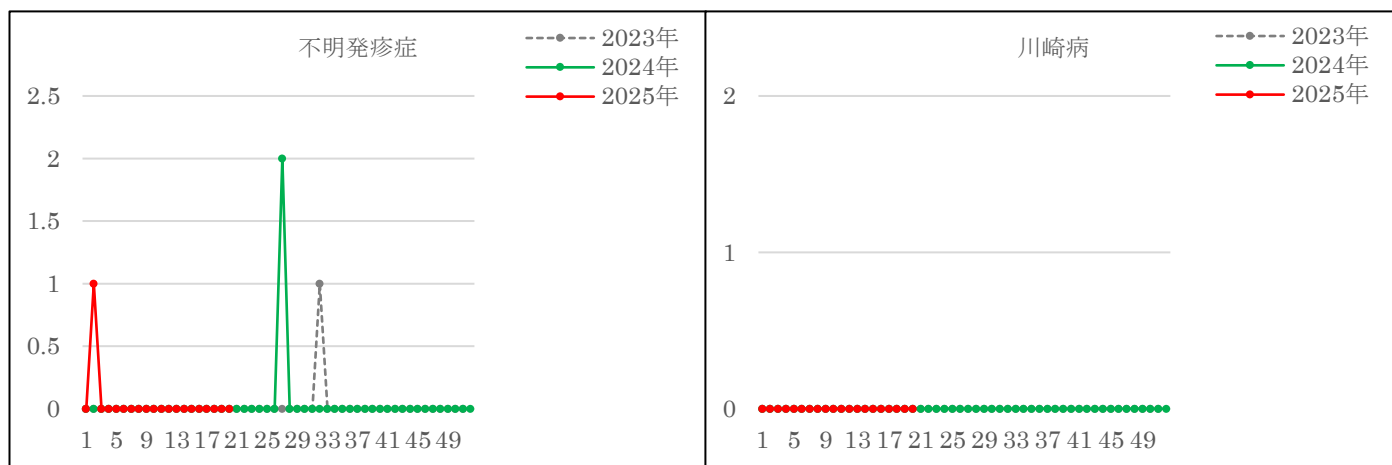
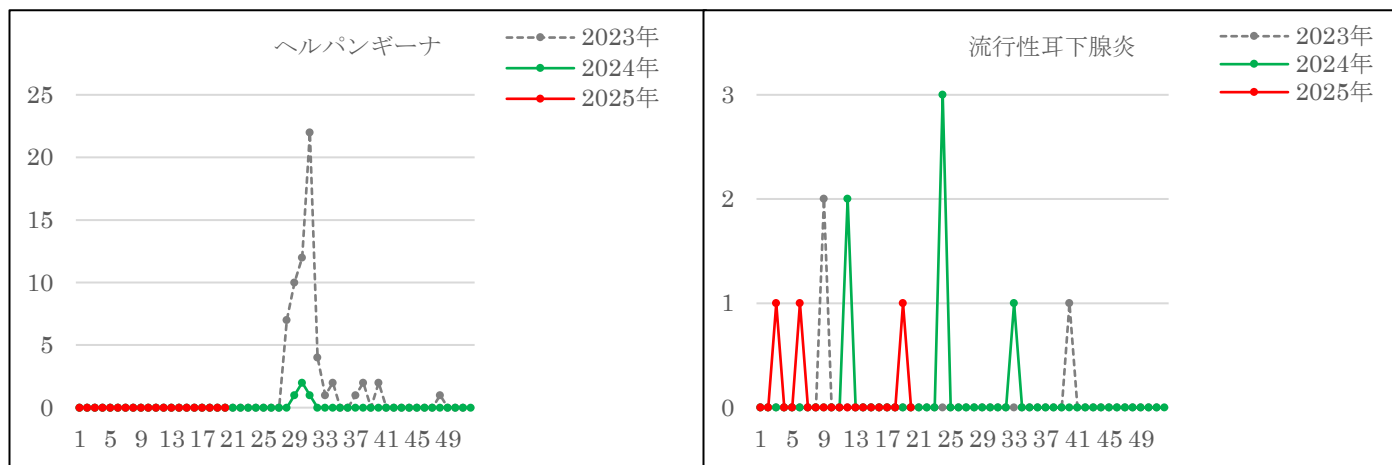
※大島出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○大島出張所管内⇒島しょ保健所大島出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/oshima/index.html>

○東京都(全域)⇒Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp>

○全国⇒国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>





※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握・分析し情報提供をすることにより、感染症発生および、まん延を防止することにあります。

大島では、大島医療センターが小児科定点・疑似症定点に指定されており、医師の診断に基づき集計しています。

また、大島出張所管内では、協力届出医療機関として利島村診療所・新島村本村診療所・新島村式根島診療所・神津島村診療所の医師より報告を受けた人数を計上しています。

<編集・発行>

東京都島しょ保健所大島出張所 電話：04992-2-1436 FAX:04992-2-1740  
 新島支所 電話：04992-5-1600 FAX:04992-5-1649  
 神津島支所 電話：04992-8-0880 FAX:04992-8-0882

